

会 議 録

| | | | | |
|--------------------|-----|---|------|----|
| 会議名 (審議会等名) | | 令和4年度 第2回 相模原市下水道事業審議会 | | |
| 事務局 (担当課) | | 下水道経営課 電話042-707-1840 (直通) | | |
| 開催日時 | | 令和5年1月23日(月) 15時～17時 | | |
| 開催場所 | | 相模原市立産業会館 4階 特別会議室 | | |
| 出席者 | 委員 | 11人(別紙のとおり) | | |
| | その他 | 0人 | | |
| | 事務局 | 15人(土木部長、下水道経営課長、下水道料金課長、下水道保全課長、下水道整備課長、津久井下水道事務所長、外9人) | | |
| 公開の可否 | | <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可 | 傍聴者数 | 0人 |
| 公開不可・一部不可の場合は、その理由 | | | | |
| 議 題 | | 1 開 会 2 会長あいさつ 3 審議会委員及び職員の紹介 4 議題 (1) 改定・相模原市雨水対策基本計画の見直しについて (2) 津久井地域における生活排水処理手法の見直しについて (3) 公共下水道管路施設等の維持管理に関する民間活力の活用について (4) 令和3年度下水道事業会計決算について 5 閉会 | | |

議 事 の 要 旨

議題（１）改定・相模原市雨水対策基本計画の見直しについて

「資料１ 改定・相模原市雨水対策基本計画の見直しについて」に基づき事務局より説明を行った。

（西川会長）今回改定の計画は、過去のものと比較してどのような点が補完されているのか伺う。

（事務局）過去の計画においては、実際の浸水箇所を対策箇所として計画を立てたが、近年浸水実績が減少してきたことから、今回の改定では浸水箇所だけでなく、シミュレーションのうえ浸水想定箇所を抽出し、都市機能の集積状況等を加味して対策箇所を決定した。

（西川会長）どれくらいの期間を捉えて議論をするべきなのか。

（事務局）当面の10年間で対応していく11ヶ所について、検討していただきたい。

（池田委員）計画降雨における施設整備の指針となっている国のガイドラインとは、各地域の特性を鑑みて策定されたものなのか。また、これを相模原市の基準として採用することは妥当なのか。

（事務局）国の「雨水管理総合計画策定ガイドライン」では、地域ごとの降雨の量を鑑みて、地域によって異なった値が設定されているため、本市ではその値を採用している。

（竹田委員）雨水管の整備がされていると思われる地域（中央区中央付近）において、床下浸水被害実績等の根拠により最優先対策地域に指定されているのはなぜか。

（事務局）中央地区は合流改善対策区域であり、雨水管の整備は終わっていない箇所があることから、そこを対策していくためである。

（篠崎委員）「10 対策事業」の対策内容で掲げる、土のう配布によるソフト対策というのはどのようなものか。

（事務局）雨水管がまだ整備されていない合流改善対策区域や、河川からの溢水が想定される箇所において土のうを並べて対策するものである。

(西川会長) 現状ソフト対策となっている箇所は、河川改修が行われない限り、土のうによる対策が継続となるのか。調整池等のハード施設による対策は検討されていないのか。

(事務局) 河川改修は順次行っているが、完了は10年以上のスパンとなる見込みの箇所もある。また、改修が困難な箇所においては、調整池等の施設を整備していくことも考えられる。

議題(2) 津久井地域における生活排水処理手法の見直しについて

「資料2 津久井地域における生活排水処理手法の見直しについて」に基づき事務局より説明を行った。

(竹田委員) 津久井地域においては、下水道を整備しても接続しない世帯が多いことが予想される状況で、費用対効果が得られるのか。

(事務局) 高度処理型浄化槽は耐用年数が短く、その維持管理費と公共下水道の整備に係る費用を、将来的な人口減少等を加味して比較した中で、施工困難区域を除いた箇所は公共下水道が有利だという結論となった。

(広田委員) 将来的な経済比較のグラフが右肩上がりに単純化されすぎているように見える。また、参照している将来人口予測はどのような推計のものを反映しているのか。

(事務局) グラフはわかり易くするために線形で表現しているが、実際には年度ごとに検証し、最終的には公共下水道が有利という結果を得ている。将来人口予測については、さがみはら都市みらい研究所において推計した数値を参照しているが、全ての地区で人口減少と推計された数値を用いて検証をした結果、グラフのとおりとなった。

(西川会長) 資料の維持管理費の説明において、公共下水道はメンテナンスフリー、という記述をされているが、この考え方を伺う。

(事務局) 実際には、点検費用、清掃費用が掛かってくるが、浄化槽の維持管理に比べて微々たるものであるので、メンテナンスフリーと表現をした。

(西川会長) 公共下水道を引いた場合でも、一定期間ケアはしていかなければならないわけで、あたかも費用が発生しないような表現を強調することには違和感がある。今後もこの表現をするのかを精査していただきたい。

議題（３）公共下水道管路施設等の維持管理に関する民間活力の活用について
「資料３ 公共下水道管路施設等の維持管理に関する民間活力の活用について」に基づき事務局にて説明を行った。

（竹田委員）民間活力の導入については、直営よりも良い評価が出ているケースもあるので、どんどん取組を進めてほしい。

（落合委員）民間活力を導入することによって、メンテナンスの一元化などによる経費削減のメリットもあるかと思うので、是非とも活用していただきたい。

（池田委員）土木職員の減少の背景は何なのか。計画的な人材育成を行ってはいなかったのか。

（事務局）本市の独特の傾向として、土木職員の応募が、横浜とか川崎といった近隣の大都市に流れている状況がある。土木職員の人材育成については、再任用職員や会計年度任用職員などのOB職員から技術の継承を行えるような体制をとっている。

（池田委員）下水道のような公共的な事業を、どの程度まで民間に移行するつもりなのか。

（事務局）現段階では詳細は決まっていないところではあるが、通常でも民間委託している日常的な維持管理業務に加え、民間事業の裁量に任せたい予防保全的な業務として、点検、調査、清掃、修繕等を包括的に複数年度委託することを考えている。

（西川会長）民間活力の採用方法について、複数社に任せることで、比較検証を可能にする、というような視点も持っていただきたい。

（事務局）検討する。

（篠崎委員）受注する事業者の中には、複数年度の契約の中で、やり易いところのみに着手して、後は次の業者任せ、ということも考えられるので、業者選定に当たってその辺りをご留意いただきたい。

（事務局）現段階では、どのような体制で進めていくか全く未定である。今後、意見を頂戴しながら検討していきたい。

(青山委員) 土木職員の人材育成については、各自治体で職員減少の問題を抱えている。このことから、今後公社においても各自治体への技術的支援に力を入れていく予定である。

議題(4) 令和3年度下水道事業会計の決算について

「資料4 令和3年度相模原市下水道の決算」に基づき事務局にて説明を行った。

(林委員) 私たちが払っている下水道料金の認知度が低いと思う。下水道があるから衛生的な暮らしができていて、ということを知ってもらえるような取組はあるのか伺う。

(事務局) 下水道料金がどのように使われているのかを伝える取組として、最も皆さんの身近にある下水道施設であるマンホールを活用して、デザインマンホールの設置事業を行っている。また、近年は小学校に出前授業に赴き、下水道事業への興味を持ってもらうべく取組をしている。

(岸委員) 資料をもう少しわかり易くするために、ポイント部分をゴシック体にし、決算の総括を2、3行にまとめて総括するなど、結論を目立つように記載したほうが良い。

(事務局) ご意見を踏まえて、今後さらにわかり易い資料作りに努める。

(落合委員) 資金調達について、投資家が注目しているSDGs債などを活用して、低金利で調達する手法も検討していただきたい。

(事務局) 今年度、環境債の発行があり、財政課と調整をしている。

(篠崎委員) 資料4ページの収益「下水道使用料」について、令和2年より3年のほうが少なくなっているのはなぜか。

(事務局) 使用者の節水意識の高まりや、新型コロナウイルスにより経済活動が縮小し、使用量が減少していることが影響していると考えられる。

以上

下水道事業審議会委員出欠席名簿

| | 氏 名 | 所 属 等 | 備 考 | 出欠席 |
|----|--------|--------------------------|-----|-----|
| 1 | 西川 雅史 | 青山学院大学 経済学部 教授 | 会 長 | 出席 |
| 2 | 篠崎 栄治 | 相模原商工会議所 | 副会長 | 出席 |
| 3 | 宮野 善三郎 | 相模原市自治会連合会(緑区) | | 出席 |
| 4 | 竹田 幹夫 | 相模原市自治会連合会(中央区) | | 出席 |
| 5 | 森 逸雄 | 相模原市自治会連合会(南区) | | 欠席 |
| 6 | 落合 幸男 | 相模原市農業協同組合 | | 出席 |
| 7 | 林 加代子 | 特定非営利活動法人男女共同参画 さがみはら | | 出席 |
| 8 | 池田 珠三子 | さがみはら消費者の会 | | 出席 |
| 9 | 金子 義幸 | 相模原の環境をよくする会 | | 欠席 |
| 10 | 青山 光男 | 公益財団法人神奈川県下水道公社 | | 出席 |
| 11 | 広田 啓朗 | 武蔵大学 経済学部 教授 | | 出席 |
| 12 | 岸 徹 | 岸徹公認会計士事務所 副所長 | | 出席 |
| 13 | 守屋 俊彦 | 公募委員 | | 出席 |
| 14 | 熊谷 由加 | 公募委員 | | 欠席 |